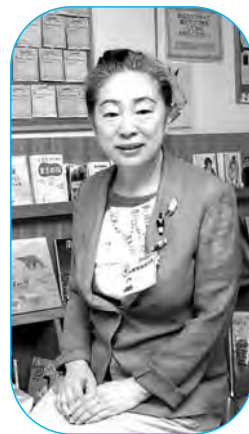


市立図書館長 あいさつ



中津川市のみなさん、初めまして。7月1日から新図書館「創造情報館」建設・運営に携わるため赴任しました小林光代と申します。秋田県の北部、大館市というところからやって参りました。

今年4月、たまたま出会った新図書館長公募の記事で初めて岐阜県中津川市の存在を知りました。行政の中でややもすると後回しにされがちな図書館を町の中心に据え、人々の交流の場として地域を興していくという当市の取り組みは、長年図書館界にいる私の心を大きく揺さぶりました。「中津川市とはいったいどんな町だろう。」「どんな人々の住む町なのだろう。」そんな敬意を持つための応募でした。

6月、二次試験で私にとって未踏

のこの地を訪れました。恵那山に見守られるような馬籠宿に落合宿、木曾川に中津川、四ツ目川。なんと美しい町だろう。島崎藤村や前田青邨、熊谷守一といった墨客文人の数々に加え、土地土地の人が大切に残してきた多くの伝統文化。秋田での職を辞してまでの移住は大きな決心でした。しかし、この美しく、文化の香り高い中津川に、皆が楽しく集える図書館ができたらなんと素晴らしいだろう。そんな思いが膨らみチャレンジをすることにしました。

図書館は、人生のあらゆる場面で、あらゆる年齢、あらゆることに對し手助けできる知恵を集めた場所です。一冊の本、あるいは情報との出会いが、時に私たちを救い、癒し、励まし、勇気づけ人生を変えることも稀ではありません。

新図書館は、これまでのサービスに加え、本の貸借ばかりでなく、世代を超えた交流と市民の生活のすぐ傍らに寄り添い、気軽に立ち寄りてもらえる場としたいと考えています。利用者によって図書館は育つと言われますが、どうぞ、皆さんおひとりおひとりの参加とお力添えをよろしくお願い申し上げます。

市立図書館長 小林光代

出前講座 受付中

「どんな図書館なの?」「遠くに住んでいても使えるの?」など、新しい図書館についての素朴な疑問に新図書館準備室のスタッフがお答えします。

問・申込

新図書館準備室 (☎内線4311)

新しい図書館は「創造情報館」へ

新しい図書館「知りたい、交流したい、発信したい」人が集まる創造情報館」の事業を進めるため、積極的に熱意のある図書館長を全国公募しました。

全国から21人の応募があり、論文試験、面接試験の結果、秋田県大館市の小林光代さんに決定しました。小林さんは7月から着任し、以前にかわった学校図書館司書の豊富な経験を活かしながら設計、建設、運営に取り組んでいます。

創造情報館は平成22年の10月から



外観イメージ

知りたい



3階イメージ

「創造」をコンセプトのひとつに掲げる新図書館では、豊富な書籍だけでなく、電子書籍をはじめとするデジタル資料が簡単に利用できます。また、情報の発信を支援します。

交流したい



1階イメージ

遊びに来た子ども、勉強をしにきた学生、アイデアを求めてやってきた会社員、生きがいを見つけた高齢者。図書館が交流のきっかけをつくります。

設計業務を進めており、22年11月から「図書館だより」で毎月その状況をお知らせしてきました。新しい図書館の外観、細かな設計が出来上がり、イメージ図が完成しましたので紹介いたします。